

# 徳地森の子くらぶ（第2回）

令和6年11月16日（土）～17日（日）

## 【目的】

自然体験活動を通して自然に親しむ態度や豊かな情操を育むとともに、集団での宿泊体験を通して自立心や望ましい生活習慣を身に付ける素地を養う。また、本事業を実施し、参加者が自然体験についての興味や関心が高まることで、体験活動の普及を推進する。

【参加者】 小学3年生25名 4年生17名 合計42名

## 【プログラムの内容】

- 1日目 はじまりの会、みんなでなかよくなろう、徳地の森をたんけんしよう、夜の森をみんなで歩こう
- 2日目 森のおみやげをつくろう、おわりの会

## 「みんなでなかよくなろう」



初対面の緊張をほぐすために声を出したり、体を動かしたりするアクティビティを行った。はじめは少し緊張していた参加者の表情には、次第に笑顔が増えていった。

## 「徳地の森をたんけんしよう」



自然の家周辺の森（徳地の森）を仲間と一緒に探検しながら、隠されたミッションに挑戦する活動を行った。ミッションでは、ネイチャーゲームや仲間と協力するゲームを設定した。グループで活動することを通して、参加者同士の交流を深めることができた。また、翌日の工作で使用する材料を各自で拾うようにしたため、参加者が落ちているものをよく観察する姿や自然物を触ってみる姿がよく見られた。

## 「夜の森をみんなで歩こう」



夜の森を仲間と一緒に観察しながら歩いた。昼間と違い、視覚に頼ることのできない環境を楽しむ姿が見られた。

## 「森のおみやげをつくろう」



焼き板づくりを行い、自分で拾った自然物や絵の具を使い装飾を行った。参加者が自然に触れながら、自ら工夫する姿や創作することを楽しむ姿が見られた。完成した後は、グループごとに作品発表の時間を取ることで、自分が頑張った点や工夫した点を仲間に伝えることができた。

### 【参加者の声】

- ・友達と仲良くなれてみんなで活動できた。（友達づくりに関すること）
- ・森を歩いて遊べて楽しかった。（森たんけんに関すること）
- ・暗くて虫の音がきれいだった。（ナイトウォークに関すること）
- ・作るのが楽しかったから、工作をまたやってみたい。（クラフトに関すること）

### 【成果】

参加者アンケートでは、97%が満足・やや満足と回答した。その理由として、新しく友達ができたこと、森たんけんをして自然にたくさん触れ合えたこと、楽しく工作ができたことなどを挙げてあり、キャンプのねらいを概ね達成することができた。また、活動前に関連するテーマの絵本の読み聞かせを行ったことで、参加者の活動への意欲を高めることができた。

### 【課題】

「夜の森をみんなで歩こう」の際、コースの一部で足元の悪いところがあり、参加者に不安を与える場面があった。事前の安全確認の徹底と活動範囲の見直しが必要である。